

# 週刊経済

優しい光が出迎えます——。個人情報保護の観点から集合住宅で表札を掲げない世帯が増える中、発光ダイオード(LED)で名前を照らすガラス製の表札が人気を集めている。柔らかな白い光が名前を浮き上がらせる△デザインーズ表札▽だ。手がけるのは姫路市西今宿のデザイン工房「ヒロノクラフト」の美安良一さん(47)で、「疲れて帰宅したお客さんのほっとした顔を思い浮かべ、未永く愛される品を作っています」と語る。



始めた2000年、「一番きれいな素材」という「ガラス」にたどり着いたという。「愛される品を作りたい」との思いから、デザインを徹底研究。試行錯誤の末、厚さ1ミリ弱のガラスの裏に高圧の砂で名前を彫り、四隅から内部をLEDの光で照らすと、優しい文字が「ふわり」と浮かんだ。「これだ!」

## 優しく光るガラス製表札

04年8月に は、太陽光発電装置を組み込み、電源の

自然豊かな姫路市夢前町生まれ。大学卒業後、大手化粧品会社で10年以上営業畑を歩み、結婚を機に脱サラ。30歳代半ばで妻の実家の鉄工所で、旋盤工として第二のスタートを切った。ところが、慣れない仕事に戸惑う日々。気分転換しようとして1998年から幼いころの遊びを思い出し、石に動物や文字を刻む飾り物

デザイン工房  
「ヒロノクラフト」

美安 良一さん 47

「ストーンクラフト」を始めたところ「心が温まる」と顧客に受けた。「今度は個性的な表札を作ってほしい」。頼まれ仕事で石や焼き物、真ちゅう……。様々な素材を試して作ると、それが評判に。表札の受注をインターネットで

いらぬ「自発光式表示ユニット」で特許を取った。「お客さんのイメージ通りに作りたい」と、顧客とメールを10回以上やり取りする。製作数は約1000枚と大量生産は難しいが、納品後、「想像以上の出来栄に感激した」とのメールが

### 自発光ユニットで特許



「余白を生かしたシンプルなデザインを心がけています」と語る美安さん(姫路市西今宿の「ヒロノクラフト」で)

届くのが何よりうれしい。昨年9月の姫路商工会議所主催のビジネスコンペでは「ガラス彫刻を美しい光で包んだ」と、奨励賞も受賞。今では白だけでなく、赤や黄色などカラフルな光を楽しめるよう改良を重ねている。仕事に追われる毎日を送るが、いつか「妻と二人で日本中に送った表札を訪ねる旅に出たい」と夢を見ている。

商品名は「ガラス表札LED仕様」。製作するデザイン工房「ヒロノクラフト」

は姫路市西今宿1の3の17。価格は5万5000～8万円

で、営業時間は午前9時～午後5時。問い合わせは☎(079・297

・8628)。ホームページはhttp://www.hironocraft.com